

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	工業振興 班
事務事業名	各種工業団体補助金		事業コード	31210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度 ▼ 年度
基本施策名	第2節	中小企業の育成	
施策名	第1施策	経営安定化と経営革新の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
長引く不況の中、市内6工業団地協同組合等の運営が厳しいため、運営費の一部を補助する。また、(社)神奈川県工業技術研修センターにおいて県内中小企業の工業技術の改善、向上を図るために実施している研修事業を支援をするため、事業費の一部を補助する。		1, 市内6工業団地協同組合 2, テクノパイル田名工業団地協議会3, (社)神奈川県工業技術研修センター	
		対象数	8
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
中小企業団体等に対し、運営費の一部を補助する。 1, 市内の住工混在問題解消のために建設された工業団地に対し運営事業費の一部を補助する。 2, テクノパイル田名工業団地内に進出した企業により組織された工業団地協議会の運営事業費の一部を補助する。 3, 市内中小企業が工業技術の改善、向上を図るために実施する(社)神奈川県工業技術研修センターの研修事業の一部を補助する。		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度 ~ 年度		

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	1,395	1,395	1,395	1,395
	人員・時間数	5h	5h	5h	5h
	人件費	21	21	21	21
	その他経費				
	合計	1,416	1,416	1,416	1,416
特定財源					

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか

評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 B ▼	A : 適応している	理由： 運営費全般への補助とするよりは、各年度において重点となる項目について直接的に事業を補助していくの方がより明確に効果を示すことができ、より効率的な配分ができる。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 運営費全般の収入に対する補助金の割合が低いため、効果の度合いは不明だが、現在の景気状況で組合の運営を補助しているので効果はある。県センターでの研修には、市内企業の参加も多く一定の効果はある。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 運営費の補助に関しては県、民間への代替の可能性はない。県工業技術研修センターについては多くの財源の確保があれば、より低額の参加費にて事業を行うことは可能であり、その状況となれば代替の可能性はある。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 現在の景気からすると、組合企業のみならず、組合の運営自体も厳しい状況にあるため、企業にメリットとなる事業を活発に行うには当該事業に対する満足度は高い。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由： 中小企業の育成を推進する上で、協同組合を含めた経営安定化及び様々な研修や講演会による経営革新の支援を実現している。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 現状にてある程度の成果が出ており、今以上の成果が生まれることは考えにくい。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 補助対象事業を明確し、その経費の一部を負担することにより、補助金額が減少することも考えられる。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
<input type="checkbox"/>	継続	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--